

を撮影しようとするとう立ち上がることもできない状態で、何とか坐位で撮影し（当然ながら退行変性著明で）、すぐに脊椎専門医を受診するよう、近くの病院宛に診療情報提供書を作成し、とりえずビタミンB12を処方しました。

いつまでたっても紹介先からの返書が来ず、ヘルパーが薬を取りに来る状態が続いていたので、なぜいつまでたっても返事がないのか詰問すると、受診するためのタクシー代が自己負担になるから病院に行かれないので受診していないとのことでした。自分で転倒しておきながら交通費まで公費で出してくれないなら受診しないというたかり気質にはあきれ返ります。また介護事業所も、やっと見つけた利用者が、病院を受診すると入院。その後は施設入所になると、利用者でなくなるのが見えているから、上手に誘導して受診しないように持っていくのでしょうか。心肺系の疾患が特になく身体だけが不自由なら、数年は介護サービスを利用してくれるでしょうからねえ。

多分、コロナ感染で在宅介護サービス利用者の何割かがお亡くなりになったか、要介護度が上が

って施設介護になったかで利用者が減って、事業所の経営が大変なんでしょうけど、医療の介入なく、いきなり介護というのは何とも無力感を感じます。まあ考え方を変えて、少々他人を犠牲にしても生き抜いていこうというバイタリティーの強さをほめてあげましょう。1例を挙げて街の雰囲気を紹介させていただきました。まだまだこんな話はいっぱいありますが、今回はここまで。

個人的には今年、還暦を迎えまして、身体のあちこちにガタが来始めたと痛感しています（3・4年前から不整脈が出て薬飲んでますし、一昨年の年末には十二指腸潰瘍の下血でHbが6.8mg/dlまで下がって死にかけました）が、今回、副会長に就任させていただき、谷本先生の朗報にも刺激されて心機一転もう2回専門医を更新しようと目標設定しました（1回ではちょっと軽い決心かと思われまので、2回にしました）。

今秋は「市整会」50周年記念式典も控えております。40周年、45周年の時に見劣りしないよう皆さん、大いに盛り上がりましょう。

以上、あいさつの言葉とさせていただきます。



令和4年度 市整会 総会

日時：令和4年5月21日（土） 総会16:00～ 講演会17:00～

場所：淀屋橋KAKENビル6階 大阪市中央区伏見町3-3-8

当日参加者：12名

西澤 徹	増田 博	天野 祐一	竹中 稔幸	鳴嶋 真人	伊藤 智康
小堀 肇彦	木下 裕介	森川 献志漢	小竹 志郎	渡辺 享永	久保 卓也

議 題

報告事項

- 1、会員の動向について（森川）
- 2、令和3年度事業報告（森川）
- 3、令和3年度会計報告（伊藤）
- 4、その他の報告事項

協議事項

- 1、令和4年度事業計画（森川）
- 2、令和4年度予算案（伊藤）
- 3、その他の協議事項

総会の成立について（森川）

（出席者12名、名誉理事58名〈内、委任状25通〉委任状77枚、会員187名…総会成立）

報告事項

- 1、会員の動向について（森川）

名誉会員（7名）

森下常一先生（入局：昭和53年；誕生日：S26.3.3）
油谷安孝先生（入局：昭和53年；誕生日：S26.8.5）
中洲 裕先生（入局：昭和53年；誕生日：S26.11.9）
呉家守二先生（入局：昭和54年；誕生日：S26.4.28）
島田永和先生（入局：昭和54年；誕生日：S26.11.2）
岩本善介先生（入局：昭和54年；誕生日：S26.12.4）
光武 宏先生（入局：昭和58年；誕生日：S26.10.6）

死亡退会者の御報告（7名）

田村彰浩先生（平成5年）が、6月15日ご逝去
若林 亘先生（昭和38年）が、7月30日ご逝去
井上博夫先生（昭和39年）が、7月15日ご逝去
阪本邦雄先生（昭和53年）が、12月15日ご逝去
上田晏弘先生（昭和37年）が、2月14日ご逝去

渡邊徑宏先生（昭和40年）が、4月3日ご逝去
上野憲司先生（昭和60年）が、5月10日ご逝去

閉院（2名）

楠 ^{まさたか}正敬 先生（昭和48年）

くすのき整形外科（8月末で閉院）

〒541-0041 大阪市中央区北浜3-5-20 松栄ビル3階

Tel：06-6202-6900 Fax：06-6202-6901

上野憲司先生（昭和60年）

うえの整形外科クリニック（3月末で閉院）

〒580-0032 松原市天美東7-7-7 ロイヤルコート天美3階

Tel：072-337-2580 Fax：072-337-2576

新入会（3名）

恵木 丈先生（平成5年入局）

北浜えぎ整形外科（※4月3日開院）

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋2-4-2 メディカルモール北浜（上田北浜ビル）3階

Tel：06-6205-8338 <https://kitahama-egi-orthop.com/>

渡辺享永先生（平成25年入局）

わたなべ整形外科乳腺外科クリニック（2021年5月1日開院）

〒536-0004 大阪府大阪市城東区今福西1-9-3 メディカルアベニュー城東2階／3階

Tel：06-6932-6555 Fax：06-6932-6554 <https://gamo4-watanabeclinic.com/>

久保卓也先生（平成27年入局）

勤務先：天6整形外科

〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目6-3-3F

Tel：06-6355-1374 Fax：06-6355-1375

2、令和3年度事業報告（森川）

R3.04.17（土）令和2年度後期諮問委員会（ZoomでWeb開催）

R3.04.24（土）令和2年度後期理事会（ZoomでWeb開催）

理事総数58名、当日参加14名、委任状42通（名誉会員15名、会員29名）…理事会成立

R3.05.22（土）市整会 総会 講演会のみ共催：科研製薬（Zoomで講演会なしのWeb開催）

17：00～

出席16名、委任状130通（会員総数192名）…総会成立

R3.06.26（土）市整会学術講演会 共催：旭化成 ANAクラウンプラザホテル大阪

（Webとサテライト会場の二本立て）

16：00～19：30 総合司会：明石健一

会場参加26名（演者3名、市整会会員15名、同門会3名、その他5名）

Web視聴医師28名（市整会会員12名 その他16名）

学術講演1「一般整形外科外来における小児整形外科診療の要点」 座長：宮内 晃

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 病院講師 中川敬介先生

学術講演2「妊娠・授乳中の薬物治療—関節リウマチを中心に—」座長：増田 博
演者 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター
主任副センター長／妊娠と薬情報センター センター長 村島温子先生
学術講演3「骨粗鬆症治療レビュー ～骨形成促進剤を中心に～」座長：大川得太郎
演者 埼玉医科大学整形外科 教授 宮島 剛先生

R3.06.?(日)—スケルトンゴルフコンペ ⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止

R3.09.17 (金) 諮問委員会 21:00～ (ZoomでWeb開催)

R3.10.02 (土) 令和3年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催：帝人ファーマ
参加者13名 (理事総数58名、委任状41通 (名誉会員12名、会員29名) …理事会成立)
新型コロナウイルスの状況でフォーラムは中止、理事会はWebでの開催
学術講演「人工膝関節置換術の現況と将来展望—術後疼痛管理も含めて—」
演者：阪和第三泉北病院—阪和人工関節センター—総長—格谷義徳先生
会場：TKPガーデンプレミアム (心斎橋)—

R3.10.?(?)—『『これからの整形外科のかたち』を考える会』(健保介護診療担当勉強会)—
共催：久光製薬
新型コロナウイルスの拡大状況から、会員に有益な情報を馬野先生から発信することで
講演会の替わりとする事となりました。

R3.10.30 (土) 市整会学術文化講演会 共催：日本臓器製薬
会場：オービックホール 総合司会：竹中稔幸先生
会員20名 非会員6名 市整会家族5名 演者 八田 一先生
合計32名 (演者、座長含む)
学術講演「慢性疼痛と神経障害性疼痛に対する薬剤選択の実際」 座長：小竹志郎
演者 淀川キリスト教病院整形外科主任部長、大阪市立大学整形外科客員准教授
高松聖仁先生
文化講演「身近な卵の驚くべき秘密 Oh! Eggciting」 座長：増田 博
演者 京都女子大学 家政学部 食物栄養学科 教授 八田 一先生

R3.11.?(?)—家族会
⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止

R3.12.10 (金) 諮問委員会 (ZoomでWeb開催)

R3.12.12 (日) 市整会ゴルフコンペ泉が丘CC
8:00 葛城コーススタート、5組 17名 (会員15名、ご夫婦2名の参加)

R4.01.末 (?)—市整会新年会
⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止
公式行事でない新年会を予定しましたが、オミクロン株拡大により中止となりました。

R4.03.19 (土) 市整会学術講演会 共催：小野薬品/ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社
場所：ホテルモントレグラスミア 21階 スノーベリー 17：00～
総合司会：明石健一

会場参加19名 Web視聴22名

講演1 高尿酸血症・痛風の診断と治療～ガイドライン改訂を踏まえて～

座長：増田 博先生

演者 大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分秘病態内科学 講師：藏城雅文先生

講演2 変形性膝関節症に対する新規関節注射治療 座長：竹中稔幸先生

演者 島根大学医学部 整形外科教室 教授 内生祐司先生

病院紹介 1. なにわ生野病院

2. 泉大津市立病院

コロナ禍の事もあり、メーカーの事情で案内は同門会限定で送付させていただきました。

R4.04.15 (金) 諮問委員会 (ZoomでWeb開催)

R4.04.23 (土) 令和3年度後期理事会・市整会フォーラム (講演会のみ共催：久光製薬)

講演会のみ、情報交換会は無し

場所：TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前

17：00～(フォーラム)、18：00～(講演会)

理事総数60名、委任状38通 (名誉会員9名、会員26名)、参加者：13名…理事会成立

学術講演「正直TKA、過去・現在&未来」 座長：西澤 徹

演者 阪和第二泉北病院 阪和人工関節センター センター総長 格谷義徳先生

R4.05.07 (土) 市整会50周年記念式典 第1回準備委員会

3、令和3年度会計報告 (伊藤)

別紙資料参照

4、その他の報告事項

1) 妻鹿良平先生 (平成12年入局) が脳梗塞で入院され、古瀬洋一先生から、診療支援の依頼が有りました。

サトウ病院の先生方、古瀬先生ご夫妻、日下昌浩先生、大学院生の竹村先生に代診して頂きました。(10日間)

2) 米田昌弘先生 (平成11年入局・整形外科よねだクリニック) が体調をくずされ、代診依頼がありました。

清恵会病院の先生方、金剛病院の宮口正継先生、オサダ整形外科クリニックの和田先生からのご紹介で、済生会野江病院の柴田弘太郎先生に代診して頂きました。

3) 2022年度は市整会50周年記念式典での人選と日程調節

準備委員会のメンバーの役職は以下に決定しました。(順不同・敬称略)

監督： 西澤 徹

助監督： 鳴嶋真人 天野祐一

総合・渉外： 増田 博 馬野隆信 天野祐一 宮脇裕二

総務： 森川献志漢 斧出安弘 小竹志郎 竹中稔幸
会計： 伊藤智康 宮内 晃 大川得太郎
広報・記念誌： 斧出安弘 木下裕介 大川得太郎 小竹志郎 天野祐一 水沢慶一 久保卓也
景品係： 秋野一男 天野祐一 森田光明 水沢慶一
その他： 委員全員

総勢（18名）

鳴嶋真人 西澤 徹 増田 博 馬野隆信 天野祐一 宮脇裕二 森川献志漢 斧出安弘
小竹志郎 竹中稔幸 伊藤智康 宮内 晃 大川得太郎 木下裕介 水沢慶一 秋野一男
森田光明 久保卓也

50周年の口座

三井住友銀行 城東支店 普通 1850983

市整会50周年記念行事 会計：伊藤智康

今後の予定

R4.10.02（日）市整会50周年記念祝賀会

R4.05.07（土）市整会50周年記念第1回準備委員会

R4.06.11（土）学術講演会の前に 市整会50周年記念第2回準備委員会

R4.07.？（土）第3回市整会50周年記念 準備委員会

R4.08.？（土）第4回市整会50周年記念 準備委員会

R4.09.17（土）第5回市整会50周年記念 準備委員会

今後100周年を目指していくうえで、50周年の歴史を紡いでいく責務があることを含め、2世の先生方をクローズアップする事などの意見が諮問委員会でありました。

4）来年度より名簿の記載を大阪市立大学附属病院から大阪公立大学医学部附属病院とさせていただきます。

尚、市整会の名称は、時期尚早と考え、このままで数年間行かせて頂きます。

5）同門会のメーリングリストの変更

医局の秘書さんから連絡があり、大阪公立大学の名称変更に伴い、同門会メーリングリストを変更されました。

med-seikeidoumon@ml.omu.ac.jp

6）その他の報告事項は有りませんでした。

協議事項

1、令和4年度事業計画（森川）

R4.05.21（土）市整会 総会（講演会のみ共催：科研製薬）16：00～総会 17：00～講演会
淀屋橋KAKENビル6階 大阪市中央区伏見町3-3-8 Tel：06-6231-8888

（出席者12名、名誉理事58名〈内、委任状25通〉委任状77枚、会員187名…総会成立）

演題名 「白色家兔の軟骨欠損に対する多血小板フィブリン（PRF）シートと

マイクロフラクチャーを組み合わせた治療の組織学的検討」 座長：小竹志郎

演者 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学 木下拓也先生

R4.06.11（土）学術講演会の前に 市整会50周年記念第2回準備委員会

ANAクラウンプラザホテル4階「高砂の間」 14：30～16：00 15：00～開始

- R4.06.11 (土) 学術講演会 共催：旭化成 16：00～19：30
 ANAクラウンプラザホテル 16：00～
 参加53名（市整会員36名・同門会員2名・それ以外15名〈演者3名含む〉）
 学術講演1「終末期医療における「医療が無力なとき」の医師の役割」
 座長：小竹志郎
 演者 医療法人みのり会おかやま在宅クリニック 院長 岡山容子先生
 学術講演2「最新の関節リウマチ治療～生物学的製剤からJAK阻害薬まで～」
 座長：増田 博
 演者 大阪はびきの医療センター 副院長 アレルギー・リウマチ内科 緒方 篤先生
 学術講演3「重度骨粗鬆症の診断と治療」座長：大川得太郎
 演者 東京大学大学院医学系研究科 整形外科学 准教授
 骨粗鬆症センター センター長 齋藤 琢先生
- R4.06.26 (日) スケルトンゴルフコンペ 天野山ゴルフクラブ
 8：00～ 12組（教授も参加）
- R4.07.? (土) 第3回市整会50周年記念 準備委員会
- R4.08.? (土) 第4回市整会50周年記念 準備委員会
- R4.09.10 (土) 令和4年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催：帝人ファーマ
 会場：TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋バンケット3A 16：00～19：00
 （大阪府大阪市中央区南船場4丁目3-2 ヒューリック心斎橋ビル）
 会場URL：<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-shinsaibashi/access/>
 学術講演「骨粗鬆症の薬物療法と椎体骨折への対応」 座長：増田 博
 演者：大阪市大 高橋真治先生 情報交換会はなし
- R4.09.17 (土) 第5回市整会50周年記念 準備委員会
- R4.10.? (土) 「『これからの整形外科のかたち』を考える会」（健保介護診療担当勉強会）
 コロナの情報発信を行うことで、本年度は中止
- R4.10.02 (日) 市整会50周年記念式典
- R4.11.05 (土) 市整会学術文化講演会 共催：日本臓器製薬
 文化講演 京大 鎌田浩毅先生から、地震の講演予定
- R4.11.? (日) 家族会 ⇒ 50周年式典開催にあたり今年中止
- R4.12.? (金) 諮問委員会
- R4.12.11 (日) 市整会ゴルフコンペ天野山カントリークラブ
- R5.01.? (土) 市整会新年会

2、令和4年度予算案（伊藤）

別紙資料参照

3、その他の協議事項

1) 市整会の公式行事から市整会ゴルフコンペを外すのはどうか？

市整会ゴルフコンペと、スケルトンゴルフコンペがあります。

スケルトンゴルフコンペは、教授を含め勤務医の先生方との交流の場で、接待と考えれば、それもありかなと思いますが、市整会の公式行事からはずす事を話し合った所、時代が変わり、葉屋さんの接待が一切なくなった現在、沢山の予算（約33万円）を、既得権として守る必要がなく、約200名の会員のうち今後の案内状不要の返事を頂いている先生方も多数おられ、継続の可否について諮問委員会で話し合いました。そこで、大学との繋がりを継続する意味でもスケルトンコンペは予算縮小し継続し、年末の市整会コンペは予算なしにて実費で継続していく事を理事会にて審議し、その上で総会にて話し合ったところ、現在案内状を出している先生方が88名おられ新入会の先生方もゴルフをされる方が多数おられることを加味し、現状のまま存続する事となりました。

2) 令和4年3月の市整会学術講演会での共催を小野薬品／プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社がやって下さっておりましたが、今季限りで共催を降りられる事となりました。そこで今後はどのようなようになるかですが、他のメーカーの協賛が取れるように幹部が声掛け等の努力をする事と理事会で決まりました。現在、持田製薬（鳴嶋先生より）、久光製薬（増田先生より）に打診しているご報告が有りました。

3) 慶弔などの緊急発信以外は、メールでの連絡体制をとる件について話し合い

メールでの連絡体制については、今後の課題となりました。

4) 市整会の年会費を3万円から、コロナ禍でもあり2万7千円に引き下げておりましたが、本年度はどのようにすればよいか？理事会にて決を取ったところ、会費は3万円に戻す方向で、できれば来年新年会も開催できるように、予算組をする事となりました。

5) 役員改変

竹中稔幸先生が副会長（総務・広報並びにIT委員会担当副会長）に、新たに就任されました。

6) 新規開業し市整会に入会したい時、どこに連絡すればよいかわからないとお意見があり、HPの一般の方が閲覧できる場所に、入会の案内を入れ森川のメールアドレスを記載し連絡して頂く事とする。

また、医局の秘書さんに尋ねられた際、森川に連絡を入れて頂けるようお願いする。

7) メールでは、勝手に削除欄に移され気づかない事があり、LINEとチャットを使ってはどうか？と質問がありましたが、Faxのみや、メールのみの先生方もおられ、LINEの連絡先を知ることが困難であり、今後の課題となりました。

8) その他の協議事項は有りませんでした。

市整会 令和3年度収支決算書・令和4年度予算書

令和3年度収支計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

1. 収入の部

科目	令和3年度予算額	令和3年度決算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥4,377,000	¥4,338,000	¥-39,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,377,000	¥4,338,000	¥-39,000
第2款 雑収入			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥100	¥69	¥-31
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥0	¥101,000	¥101,000
小計	¥100	¥101,069	¥100,969
当期収入合計	¥4,377,100	¥4,439,069	¥61,969
繰越金	¥7,272,197	¥7,272,197	¥0
合計	¥11,649,297	¥11,711,266	¥61,969

2. 支出の部

科目	令和3年度予算額	令和3年度決算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥100,000	¥155,886	¥55,886
第2項 事務用品費	¥10,000	¥2,039	¥-7,961
第3項 渉外費	¥100,000	¥0	¥-100,000
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥250,000	¥197,925	¥-52,075
第2款 各部活動費			
第1項 総務部	¥800,000	¥343,622	¥-456,378
第2項 学術部	¥850,000	¥1,010,000	¥160,000
第3項 福利厚生部	¥400,000	¥86,020	¥-313,980
第4項 広報部	¥400,000	¥347,600	¥-52,400
第5項 税務部	¥10,000	¥0	¥-10,000
第6項 雑費	¥10,000	¥8,085	¥-1,915
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 50周年記念事業費	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥3,870,000	¥3,195,327	¥-674,673
第3款 慶弔費	¥250,000	¥351,000	¥101,000
第4款 予備費	¥7,279,297		
当期支出合計	¥11,649,297	¥3,744,252	
次期繰越金		¥7,967,014	
合計	¥11,649,297	¥11,711,266	¥61,969

内 訳

1. 収入の部

年会費収入	157/192名（閉院30名、未納5名）他 ※1、※2、※3 ※1 前年度医師信前期未収 2名（¥15,000×2） ※2 前年度分を当年度入金 2名（¥27,000×2） ※3 閉院により医師信前期分のみ 1名（¥15,000×1） ¥27,000×（192-30-5）+¥15,000×2+¥27,000×2+¥15,000×1=	¥4,338,000
利息	医師信用組合 三井住友銀行	¥55 ¥14
その他の収入	学術講演会等参加費等	¥101,000

2. 支出の部

事務費

第1項 通信費	FAXネット・ネットバンキング・郵送（封筒舎）等	¥155,886
第2項 事務用品費	香典袋・封筒	¥2,039
第3項 渉外費		¥0
第4項 事務弁償費	総務 会計	¥20,000 ¥20,000

各部活動費

第1項 総務部	会議費（ZOOM会議 年契約¥22,110×2年分） ネームプレート代 ホームページ関連 名簿印刷	¥44,220 ¥5,500 ¥222,960 ¥61,006
第2項 学術部	文化講演会講師料 大学医局出張費援助金	¥210,000 ¥800,000
第3項 福利厚生部	ゴルフ	¥86,020
第4項 広報部	会報印刷代等	¥347,600
第6項 雑費	振込手数料等 残高証明書手数料	¥5,665 ¥2,420

慶弔費	祝花・供花代、香典等	¥351,000
-----	------------	----------

令和4年度収支予算書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

1. 収入の部

科目	令和3年度予算額	令和4年度予算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥4,377,000	¥4,770,000	¥393,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,377,000	¥4,770,000	¥393,000
第2款 雑収入			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥100	¥100	¥0
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥0	¥100,000	¥100,000
小計	¥100	¥100,100	¥100,000
当期収入合計	¥4,377,100	¥4,870,100	¥493,000
前期繰越金	¥7,272,197	¥7,967,014	¥694,817
合計	¥11,649,297	¥12,837,114	¥1,187,817

2. 支出の部

科目	令和3年度予算額	令和4年度予算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥100,000	¥100,000	¥0
第2項 事務用品費	¥10,000	¥10,000	¥0
第3項 渉外費	¥100,000	¥100,000	¥0
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥250,000	¥250,000	¥0
第2款 各部活動費			¥0
第1項 総務部	¥800,000	¥1,200,000	¥400,000
第2項 学術部	¥850,000	¥1,000,000	¥150,000
第3項 福利厚生部	¥400,000	¥250,000	¥-150,000
第4項 広報部	¥400,000	¥400,000	¥0
第5項 税務部	¥10,000	¥10,000	¥0
第6項 雑費	¥10,000	¥10,000	¥0
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 50周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥3,870,000	¥4,270,000	¥400,000
第3款 慶弔費	¥250,000	¥350,000	¥100,000
当期支出(第1～3款)合計	¥4,370,000	¥4,870,000	¥500,000
第4款 予備費	¥7,279,297	¥7,967,114	¥687,817
合計	¥11,649,297	¥12,837,114	¥1,187,817

市整会資産(令和4年3月31日現在)

	R3.3.31時点	入金	利息	R4.3.31現在	増減
医師信用組合普通	¥7,187,944		¥55	¥7,336,689	¥148,745
医師信用組合					一般会計
学術基金(医師信スーパ-定期・2059738)	¥1,042,143		¥89	¥1,042,232	¥89
学術基金(医師信スーパ-定期・2059746)	¥1,162,671		¥99	¥1,162,770	¥99
小計	¥9,392,758			¥9,541,691	¥148,933
三井住友銀行(市整会)	¥83,789		¥14	¥530,001	¥446,212
普通					一般会計
三井住友銀行	¥5,610,182	¥400,000	¥32	¥6,010,214	¥400,032
定期					
学術積立金	¥3,000,255	¥1,000,000	¥17	¥4,000,272	¥1,000,017
定期					
50周年積立金	¥4,065,552		¥68	¥4,065,620	¥68
定期					
事業基金(30、35、40周年残金)					
小計	¥12,759,778			¥14,606,107	¥1,846,329
渉外準備金	¥12,679,683		¥214	¥12,679,897	¥214
定期					
三井住友銀行					
小計	¥12,679,683			¥12,679,897	¥214
現金(一般会計)	¥464			¥100,324	¥99,860
合計	¥34,832,683			¥36,928,019	¥2,095,336
					¥7,967,014
					(一般会計合計)

会計監査報告書

令和3年度市整会（大阪市大整形外科開業医会）の歳入歳出につき、慎重監査いたしましたところ、適正に処理・管理されたことを認めます。

令和4年5月3日

監事

楢 憲一郎 

令和4年5月8日

監事

宇田 浩成 

令和4年度 市整会役員

会 長	西澤 徹							
副会長	増田 博	馬野 隆信	竹中 稔幸					
会 計	伊藤 智康							
総 務	森川献志漢							
名誉会長	吉中 正好	長田 明	南平 克積	鳴嶋 真人	天野 祐一			
顧 問	黒田 晃司	楯 憲一郎	前野 岳敏					
議 長	鳴嶋 真人							
副議長	斧出 安弘							
監 事	安田 浩成	楯 憲一郎						
理 事	石崎 嘉昭	中野 博友	奥田 好彦	近藤 正樹	楠 正敬	吉田研二郎		
	林 正樹	西上 茂樹	鳴嶋 真人	増田 宗義	和田 健志	佐藤 哲也		
	中村 薫	宮脇 裕二	斧出 安弘	田中 直史	秋野 一男	天野 祐一		
	増田 博	寺川 文彦	柳井 尚浩	馬野 隆信	柴田 和弥	阪本 博史		
	金井 秀彰	長濱 信一	高山 優	古瀬 洋一	黒澤 克也	宮内 晃		
	山下 豊	調子 和則	西澤 徹	竹中 稔幸	大川得太郎	伊藤 智康		
	小堀 肇彦	岩城 啓好	桑野 吉浩	日下 昌浩	木下 裕介	鱧永 浩		
	姜 良勲	森川献志漢	越宗 勝	小竹 志郎	明石 健一	妻鹿 良平		
	高尾 泰広							

役員職務分掌

福利厚生担当副会長	馬野 隆信					
福利厚生担当理事	天野 祐一	長濱 信一	増田 宗義	和田 建志	田中 直史	
	秋野 一男	高山 優	金井 秀彰	大川得太郎	木下 裕介	
	小竹 志郎					
学術並びに健保介護診療担当副会長	増田 博					
学術担当理事	宮内 晃	西上 茂樹	佐藤 哲也	竹中 稔幸	岩城 啓好	
	小竹 志郎	明石 健一				
健保介護診療担当理事	馬野 隆信	佐藤 哲也	秋野 一男	西澤 徹	大川得太郎	
	小竹 志郎	日下 昌浩				
総務・広報並びにIT委員会担当副会長	竹中 稔幸					
総務担当理事	森川献志漢	阪本 博史	日下 昌浩			
広報担当理事	宮脇 裕二	天野 祐一	山下 豊	小堀 肇彦	鱧永 浩	
	越宗 勝	木下 裕介	妻鹿 良平	姜 良勲	高尾 泰広	
I T 委員会	森川献志漢	宮脇 裕二	斧出 安弘	高山 優	調子 和則	
	木下 裕介	小竹 志郎	明石 健一			
諮問委員会	西澤 徹	天野 祐一	増田 博	馬野 隆信	鳴嶋 真人	
	安田 浩成	宮脇 裕二	斧出 安弘	宮内 晃	竹中 稔幸	
	大川得太郎	伊藤 智康	木下 裕介	森川献志漢	小竹 志郎	

市整会創立50周年記念式典のご案内

「世紀を超えて発展と新生」

会長 西澤 徹（昭和62年入局）

盛夏の候、会員の皆様におかれましては、日々ご健勝のことと存じます。

2年半を超えるコロナ禍に、市整会の活動は大きく制限されながらも、少しずつ従前の体制を取り戻してまいりました。

令和4年は、市整会創立50周年という記念すべき年であります。

これを祝して、この度記念式典を挙行することとあいなりました。

半世紀前に灯った明かりが諸先輩のご努力により、他に例を見ない自主独立した同門開業医の輝きを放つ集団としての地位を獲得いたしました。

ここに皆さんで集い、半世紀前の先人への尊崇の念を共有し、これからの半世紀に向けて、気持ち新たに市整会を発展させるべく祝賀会を開催いたします。

祝賀式典、晚餐会をはじめ、アトラクションなど多彩な出し物も準備しております。

会員の皆様はもとより、内助の功で日頃クリニックを支えてくださっている奥様、また私たちがどれほど誇らしい仕事をしているのか知っていただく上にも、ぜひご家族のご出席を願うものであります。

ひとりでも多くのご参加をいただきますことを、伏してお願い申し上げます。

日時：令和4年10月2日（日）

記念式典 17：30 開始

祝賀会 18：00 開始

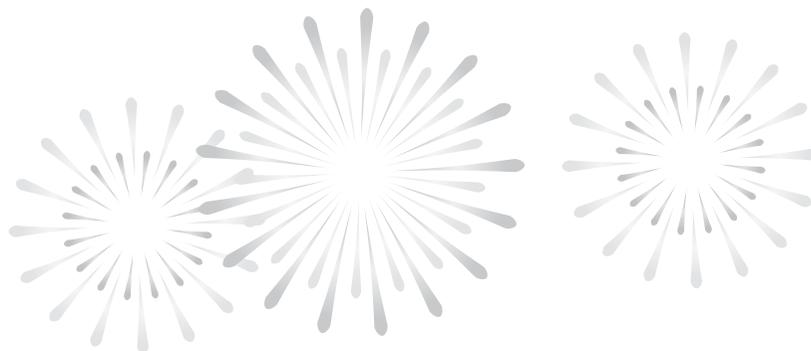
場所：ザ・リッツ・カールトン 大阪 ザ・グラント・ボールルーム

皆様のお手許にすでに案内状が届いているかもしれません。

また、祝賀会との2本柱として、50周年記念誌を発行いたします。案内状に同封された市整会アンケートが届いたかと存じますが、ぜひご記入いただきご返送ください。

特集として、これからの市整会を考えるべく、お父様から継承された先生方の座談会や、近年開業された若手会員の座談会なども予定しております。

これも楽しみにお待ちください。



秋の文化講演会 演者決定

地震火山学で有名な京都大学鎌田浩毅先生

会長 西澤 徹（昭和62年入局）

会員の皆様、50周年記念式典が約3か月後に迫りました。猛暑の候日々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、10月の記念式典後も市整会の活動は続きます。

11月5日に恒例の文化講演会を開催いたします。

本年は、TVマスコミに多くご出演され、京都大学人気ナンバーワン講義で有名な、京都大学名誉教授鎌田浩毅先生にご講演いただくことになりました。専門の火山学のマグマを連想させての赤を基調とした衣装を身に付けておられますので、名前は知らずとも目にした方は多いと思います。

2030年代にほぼ起こるといわれる、南海トラフ地震。今回はこれに加え、東海・東南海・南海そして首都直下型地震が時を同じくして起こる可能性が言われます。さらには富士山の噴火も同時期に連動するとか。

予測犠牲者32万人という東日本大震災の10倍を上回る激甚災害に、私たちは何をどう準備すればいいのでしょうか。

先生はただいたずらに怖がるのではなく、知識教養を身に付け、正しく恐れ準備せよと述べておられます。

先生は地震に関する多くの著作はもちろんのこと、教育者としての視点からの多くご発言されています。

今回のご講演では、「大地変動の時代に入った日本での私たちの生き方」といったお話をいただけるかと思えます。若い人（には限りません）の知的好奇心を強烈に刺激するような内容も盛り込んでいただくようお願いをいたしました。

会員諸氏はもとより、ご家族、学生さん、小中高校生にもぜひ聴いていただきたい講演です。

「最も大切なのは、ただ生きるのではなく、善く生きることである」とソクラテスの言葉にあります。豊かに生きる一助となればと思います。ぜひご家族お揃いでお越しいただきたくお願いする次第です。

簡単なお略歴

1955年生まれ 東京教育大学駒場高校卒業

1979年東京大学理学部地質鉱物学科卒業

1997年より京都大学大学院人間・環境学研究科教授、京都大学総合人間学部教授

2021年より京都大学レジリエンス実践ユニット特任教授

おもな著作

「武器としての教養」

「100年無敵の勉強法」

「富士山噴火と南海トラフ」

「首都直下地震と南海トラフ」 など多数

ちなみに私、上記のうち3冊に加え、「生き抜くための地震学」も購入読了いたしました。

朝日放送「正義のミカタ」などTV、ラジオ出演多数。

ご出演動画（たくさんあります）はどれもおもしろいです。ぜひご覧ください。

ぜひ、11月5日（土）夕刻、本町の「オービック御堂筋ビル」ご参集ください。

案内状はしばしお待ちを。

市整会家族会を企画して

福利厚生担当 大川得太郎（昭和62年入局）

平成25年（2013年）より市整会の福利厚生幹事に任命され、主に家族会の企画担当を命ぜられました。今年は市整会の50周年記念式典のため、家族会の旅行はお休みです。残念ながら、コロナ禍で2019年の旅行以来、延期が続いております。

平成25年に佐藤哲也先生より、市整会幹事への推薦の電話がありました。開業時に市整会に入会し、開業8年目でした。市整会に入会したものの、たまに教育講演に行く位で、正直余り興味はありませんでした。佐藤先生のすすめもありましたので、参加するくらい軽い気持ちでお受けしました。

その当時の副会長は安田先生でした。安田先生は研修医の頃に、大阪府立身体障がい者センターを回ったときにお世話になり、知っている先生でホッとしました。安田先生に指導されながら、家

族会の平成25年度の企画を建てました。鳴嶋会長より、今年はNHK大河ドラマの「八重の桜」にゆかりの京都にしたいとリクエストされました。それで、今回は八重が愛した建仁寺にしました。建仁寺は写真がどこでも可能というのも魅力でしたし、風神雷神図を初め、双龍図、枯山水など見所もありそうで、自分でも行ってみたいと考え、決定しました。

それに、「木乃婦」での食事と和菓子づくり体験を入れることにしました。今回の、私の企画が好評で市整会の皆様に喜んで頂いて、大変嬉しかったです。開業してから、人との付き合いが希薄化しているように感じておりましたが、地域の医師会の催しよりも、殻を捨てて付き合える会が、市整会であることに気づき、最初は気が進みませんでした。が、幹事をお受けして良かったです。



2013年 京都・建仁寺と懐石「木乃婦」、和菓子づくり体験



2014年 伊賀上野



2015年 京都・伏見稲荷神社と懐石「ちもと」、京こま作り体験

平成26年度（2014年）は、伊賀上野にしました。前回好評だったので、今回も頑張ってみようと、事前に伊賀上野に家族旅行に行きました。忍者のコスプレが、結構面白く印象に残りました。忍者のコスプレをしてみると、伊賀上野では一躍主人公になります。町中を歩くと、気持ちも解放され、家族とついはしゃいでしまいます。周りの人より羨望の目で、見られているような気分が味わえました。

実は、市整会の皆さんに忍者のコスプレをしてもらうのはさすがに無理だと、私は考えていました。ところが、嫁の意見は違いました。去年の

和菓子作りの時、とっても仲睦まじく製作されていたので、市整会の先生方なら、非日常的な企画を楽しんで、より親睦を深めてもらえるのではと。また、忍者のコスプレで町を歩けるのは世界中で伊賀上野だけだと言うので、予定に組み込むことにしました。今回も、大好評、大成功で市整会家族会の2回目の企画を終えることができました。

平成27年度（2015年）は、京都の伏見稲荷神社観光、懐石の「ちもと」、そして京こま作り体験。非常に人気で、58名が参加され、市整会家族会で初めてバス2台の旅行となり、嬉しい悲鳴でした。



2016年 奈良・薬師寺と懷石「菊水楼」、握り墨体験

平成28年度（2016年）は、奈良の薬師寺観光、懷石の「菊水楼」と握り墨体験。観光バス2台で64名参加と大盛況でした。薬師寺観光の圧巻は現在工事中の国宝東塔の頂にそびえる相輪を目の前に見られたことです。もう2度と間近に見ることの無い相輪は見事な造形で、1300年の歴史を間近に見られて感激しました。

薬師寺を移動中に、空より爆音が聞こえてきました。奈良の自衛隊駐屯60周年を記念した式典があり、ブルーインパルスの上陸の歓迎を受けることに成りました。わずか20分間の飛行だったのですが、薬師寺の広々とした境内より見られたのは幸運でした。

平成29年度（2017年）は、市整会45週記念があり、家族会はお休みでした。

平成30年度（2018年）は、京都の養源院です。養源院は伏見城の徳川家忠臣を弔うための血天井、伏見城の天守閣より移設した書院や鶯張りの廊下があり、俵屋宗達の松の襖絵、白像、麒麟、虎の絵があり独特の雰囲気でした。ちょうどお隣が三十三間堂で、養源院とは違って華やかな千手観音像があり、養源院との対比に素晴らしいと感じて両方を観光しました。

昼食は織田信長の甥の信頼と縁のある「左阿彌」、体験は友禅染と、今回は実は二年越しのとおきの家族会旅行を企画し盛況でした。

平成31年度（2019年）は、法隆寺観光です。法隆寺は聖徳太子がお建てになった斑鳩宮が始まりで、世界最古の木造建築です。日本の世界遺産の第1号が法隆寺です。実際に行ってみると、予想以上に広く、西院伽藍の五重塔の美しさに心を引かれました。大宝蔵院も綺麗に整備され、また、金堂の売店で見つけたARガイドに驚きました。ARガイドで、その2次元バーコードで実物を前にしながら解説を聞くのは、非常に市整会向きに感じました。ご自分のペースで、ご自分の好きなところを存分に観光していただきました。

昼食は信貴山にある奈良十三屋で懷石料理を楽しみました。体験は、信貴山の赤膚焼きの染め付けでした。まず国の有形文化財になっている登り窯の見学が予想外に面白く、皆様も非常に興味を持たれているようで、良かったです。また、皆様の懲りように驚きました。創作意欲一杯な方が多く、お気に入りの作品制作に没頭される姿が見られてとっても嬉しかったです。



2018年 京都・養源院と懐石「左阿彌」、友禅染体験



2019年 奈良・法隆寺と懐石「奈良十三屋」、赤膚焼きの染め付け体験

元々、旅行好きですが、旅行を企画するのも結構面白いです。大阪は、太閤さんのお膝元で、歴史的に興味深い場所が多いです。また、すぐそこに日本が世界に誇る、京都と奈良があります。旅行を企画しながら、勉強していくととっても面白

いです。

来年は4年ぶりの家族会旅行です。面白い企画を考えますので、是非、市整会家族会に参加して、諸先輩と親睦を深めて楽しんで下さい。

市整会ゴルフコンペの御報告

担当理事 天野 祐一（昭和57年入局）

緊急事態宣言も解除され、コロナ第5波も収束に向かっていた2021年12月12日、泉が丘クラブにて2年ぶりに市整会ゴルフコンペが開催されました。

絶好のゴルフ日和のもと、7時30分にクラブハウス前に集合した面々はいつもよりも少なかったのですが、会長挨拶、コンペルール案内の後、8時から楯先生の始球式で葛城コースをスタートしました。今回は参加者の減少もありご家族の参加をいただき5組17人でのコンペとなりました。

馬野隆信先生と阪本博史先生は御夫婦での参加です。

また、中之島いわきクリニックの禰先生が初参加していただきました。

結果

優勝	小竹 志郎先生	アウト45 イン46 グロス91 ネット78.1
準優勝	島田比呂志先生	アウト43 イン42 グロス85 ネット73.0
3位	秋野 一男先生	アウト50 イン51 グロス101 ネット74.6
4位	豊川 英樹先生	アウト44 イン39 グロス83 ネット74.6
5位	森澤 康二先生	アウト43 イン44 グロス87 ネット75.0
6位	楯 憲一郎先生	
7位	田中 直史先生	
8位	馬野 靖子様	
9位	馬野 隆信先生	
10位	禰 史明先生	
11位	吉田研二郎先生	
12位	阪本 知子様	
13位	西澤 徹会長	
14位	金井 秀彰先生	
15位	天野 祐一	
BB	阪本 博史先生	
BM	増田 博先生	

ドラコンは小竹先生と豊川先生、ニアピンの資料は散逸しました。

振り返れば、市整会ゴルフコンペは30年前には一泊で伊勢志摩に行ったりしていたのを思い出します。泊まりでのゴルフは、宴会がメインかとはかりに、市整会草創期の先生方の豪快なお話を聞くことが多く、びっくりしたものです。その昔には九州遠征もあったようで、H先生が〇〇だったとか、U先生の武勇伝が△△だったのするなど、開業したての私には刺激的なお話ばかりでした。

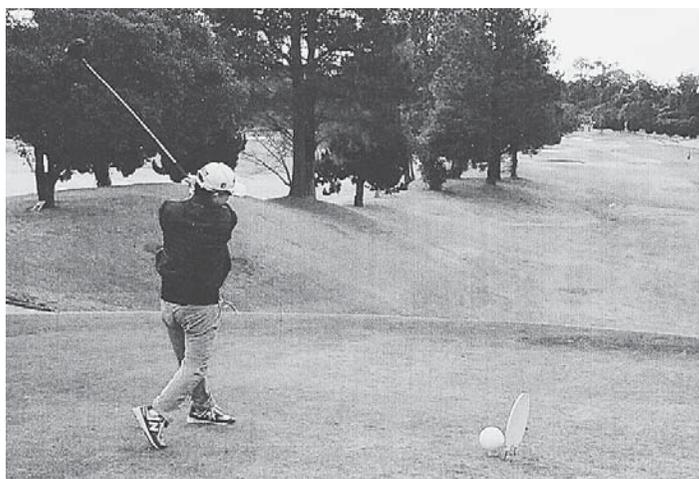
先輩方はダンディーで余裕と自身に満ち溢れており、後輩の我々はいつかはこんな生活になれるのかなと憧れておりました。

あれから月日は流れ、ゴルフの腕前はあまり変わりませんが、気がつけばゴルフコンペ担当になってしまいました。若手の先生方にはゴルフをされない方も多く、徐々にコンペも縮小傾向です。あえて私見を申せば、ゴルフというスポーツは14本のクラブを使って多彩な技を駆使するスポーツです。フィジカルだけで無くメンタルが大いに影響します。

同じコースのラウンドでも季節によって、時間帯によって、体調によって、一緒にラウンドする競技者によって、大きくその姿を変えます。

よく「ゴルフコースでは用意したものしか出せない」といわれます。全くその通りで練習不足なのに本番だけがうまくいくはずも有りません。練習場でショットが快調でもコースは生き物。筋力、持久力、細やかなタッチ、メンタルの強靱さも求められます。

スライスに悩む私が、藁をもつかむ気持ちで習ったコーチ（女子ツアープロ元賞金女王）にはスタンス、フォーム、スウィングに至るまで全てダメ出しをされ、フルスウィングの素振り素振り素振り。振り切ってクラブシャフトが頸の後ろまでくるスウィングを最低30分ノルマに設定。そう言えば中学時代のテニス部でも、高校大学時代の剣道



楯先生の始球式



小竹先生の表彰式

部でも基本は素振りでしたっけ。これならまだまだ伸び代が有るかもしれない。65歳でもスコアは縮めることが出来るかもしれないと思えるのも、ゴルフというスポーツの奥深いところと考えています。

また、長年にわたり泉が丘カントリークラブでのコンペの予約等、お世話をしていただきました楯憲一郎先生が今回でゴルフコンペの世話役を卒業されました。ありがとうございました。

ゴルフコンペの担当理事も移動が有り、昨年からは長浜信一先生と湊康行先生が卒業されました。現在は、田中直史先生、金井秀彰先生、小竹志郎先生と一緒に担当させていただいております。

また担当だった上野憲司先生の事は残念でなり

ません。真面目で責任感があり、地元医師会でも頼りにされて激務をこなされていたのでしょう。あのはにかんだ笑顔が思い出されます。謹んでお悔やみを申し上げます、

さて今年の年末にも市整会ゴルフコンペを開催予定ですが、案内を受け取った先生は是非出欠の返信をお願いいたします。現在90人くらいに郵送していますが、半分程のお返事です。次回からは返信の無かった先生にはお知らせをしないように致します。先ではメールでの募集になる方向で考えております。

以上、昨年の市整会ゴルフコンペの報告でした。よろしくお願い申し上げます。

大阪整形外科病院の紹介と 当院で行っている再生医療について

岩城 啓好（平成3年入局）

市整会の先生方におかれましてはコロナ禍の中、いかがお過ごしでしょうか。

中之島いわき病院では、大変お世話になりました。おかげさまで2020年12月に、大阪市福島区福島3丁目より5kmほど西に場所を移した福島区大開4丁目にて、病院名を『大阪整形外科病院』に名称変更し、新築移転開院いたしました。

新病院は、急性期一般病床80床、地域包括18床の98床です。手術室は3室に増え、全てバイオクリーン手術室の設備を整えました。3T-MRI、80列CTを導入し、リハビリテーション室は、320㎡と広大なスペースを取り、屋外リハビリ庭園を設け、施設内で屋外歩行訓練ができるようにしました。リハビリテーション部は、37名のリハビリスタッフが在籍しており、外来リハビリテーションにも対応しております。

現在、当院の常勤医師は整形外科医師5名で、麻酔科専門医2名の計7名です。2019年は、1483件の手術を行いました。関節外科手術1023件、脊椎外科手術183件、スポーツ・肩関節手術69件、その他外傷手術160件と様々な手術に対応できるようになりました。開院後、初めて人工関節手術が1000件（人工股関節398件、人工膝関節646件）を超え、THA、TKAとも近畿で両方2位、大阪府下では1位の症例数を誇る病院となりました。

2020年は、コロナの影響もあり、手術件数は1445件で、関節外科手術が745件、脊椎外科手術240件、スポーツ・肩関節手術153件でした。

昨今、再生医療が、注目されています。当院でも2020年秋より、PRP療法（多血小板血漿）・APS療法（自己タンパク室溶液）を導入し、2021年秋より、ASC療法（脂肪由来幹細胞）を開始しております。

再生医療とは、細胞の力を使って失った機能を取り戻す医療と定義され、人の体の再生する力を

利用して修復をめざす医療の事です。

PRP療法は慢性的な筋腱附着部の炎症に対する新しい治療選択肢です。体への負担が少なく、ドーピングの対象外として、取り扱われているので、メジャーリーグの大谷選手らが行って、注目されています。

APSは変形性関節症に特化した、次世代のPRPといわれ、PRPから抗炎症性サイトカインと呼ばれる炎症を抑える良いたんぱく質と関節の健康にかかわる成分（成長因子）を高濃度に取り出したものです。関節内に注入することによって炎症性サイトカイン（TNF- α 、IL-1）の活動を阻害することで炎症を抑え、痛みを軽減すると言われてます。

当院ではAPS治療導入以来、200例以上行い、クーススコアによる評価では、9割近い症例で何らかの除痛効果が得られています。治療は採血を行い、検査室にて分離抽出を行い、注入を行うという流れで、1時間程度で終わり、非常に身体的負担が少ない治療です。自費診療のため、治療費は高額で、当院ではPRPで13万、APSで33万円（税込み）となります。

最近、始まったASC治療は、腹部などより脂肪細胞を0.5～1gほど採取し、数週間から2か月かけて必要な細胞数になるまで培養し、増やした後、1回もしくは複数回投与することになり、外来手術と培養期間が必要になります。

ASC療法は、3例に行っていますが、評価には至っておりません。こちらは投与方法によって治療費に幅があり、当院では税込みで82万円から165万となりますが、標準的治療の場合110万円となります。

これらの治療には再生医療員会への申請が必要となり、申請費用が100万円以上必要となり、APSの場合はクリーンベンチや遠心分離機の購入

が必要で、導入にはある程度、コストと設備が必要となります。

そのような、申請、設備が不要なPFC-FD療法（血小板由来成長因子濃縮液を凍結乾燥保存したもの）もあります。採血し、血液を再生医療センターにて検査、加工します。3週間ほどでフリーズドライ化したPRPを投与する方法で、導入の障壁が低く、多くのクリニックで導入されています。費用は15万から20万円くらいようです。

再生医療には、いくつかの注意点が必要です。全例で有効なわけではなく、2～3割程度の無効例があること、効果の持続時間は長期にわたるものではなく著効例で、2～3年程度が1つの目安になります。また、軟骨の顕著な再生や、変形の矯正は期待できず、KL分類でGrade2,3が良い適

応といわれています。また、骨壊死など骨の圧潰や骨浮腫を伴う症例、半月板由来の症状には効きにくいと言われており、従来の保存治療と手術療法の中間的治療の位置づけとなっています。

最近、有名俳優を登場させて、大々的にCM広告などで、`人工関節をしない切らない治療、と銘打っている再生医療専門のクリニックなどを見かけますが、患者にあまりに過度な期待させるのは慎重になるべきだと危惧しております。

以上、新病院の紹介と当院で行っている再生医療について紹介させていただきました。引き続き、病診連携を何卒よろしくお願い申し上げます。この場をお借りしまして、原稿依頼していただきました、市整会および広報の宮脇先生に陳謝いたします。



当院外観

Update on Full Endoscopic Lateral Lumbar Interbody Fusion (ELLIF)

きょう整形外科・神経外科クリニック 姜 良勲 (平成7年入局)

ご無沙汰しています。ワクチンも治療法も確立されコロナ禍も終息に向いつつあるように思いますが、皆様いかがでしょうか？当院もやっとコロナ禍以前のペースに戻りつつあります。そして、開院から丸8年経過するのですが、全身麻酔脊椎手術件数は2000件を超えました。8年間はあつという間で日々追われて、すっかり自分の時間もないライフスタイルになってしまい、抜け出せないアリジゴクのような感じです。(平日はほとんど毎日朝9時から夜中1時位までは仕事をしていません、一般人が1日8時間労働とするならば私は人の倍の16時間労働を何年も続けています)

自分のポリシーとして、常に前進、常に世の中より一歩前にという考えがあります。人よりたくさん考え、たくさん勉強し、常に一歩前にです。昨日の自分に世の中が追いついても自分が新たに一歩前に進んでいれば人は自分に追いつかない、その繰り返しです。結果として大病院志向の世相の中、当院に来られる患者さんが後を絶たないことに結びついているのかなと思っています。

日本ではまだ誰もPEDを知らない時分に海外に勉強に赴き、かわら版に書かせて頂いたのが2009年だったかと思います。2013年12月に開院しましたが、2016年ごろには日本でもPEDを開始する病院が幾分、増えてきていました。そのころ私はヘルニアにとどまらず脊柱管狭窄症に対するPercutaneous Endoscopic Foraminoplastyや不安定症に対するPercutaneous Endoscopic Transforaminal Interbody Fusionを国際学会で発表し、インドの大病院にライブサージャリー執刀やカダバーでの手術指導の講師として招待されています。

そして、世の中が脊柱管狭窄症に対してFESSを応用したり、後方固定術に対してFESSを応用したりしましたが(以前PED、PELDと呼んでい

たもの含めて、Full Endoscopic Spine Surgeryという用語が現在は用いられています)、私は2017年に世界で初めての全内視鏡下前方固定術であるKyoLIFを発表しています。かなりのインパクトがあったようで、世界各国の先生方からアメージングと称賛して頂きました。

後腹膜腔アプローチの内視鏡下腰椎前方固定術は、古くは腹腔鏡を用いて行われていた術式がありますが、当時にはない内視鏡システムの登場とケージの進化が新たな術式であるKyoLIFを可能にしました。全内視鏡時代の賜物と言えます。

また、ご年配の先生は、後腹膜腔アプローチは前方固定といういい方に慣れておられると思いますが、昨今のOLIF、XLIFに代表されるオープン前方固定術は前方固定でなくLateral Lumbar Interbody Fusionという用語が使われます。考え方とともに用語は変わっていくものです。

KyoLIFも2019年にNeurospineの論文にアクセプトされた時はEndoscopic-Assisted Lateral Lumbar Interbody Fusionという名前でアクセプトされ、その後はEndoscopic Lateral Lumbar Interbody FusionやFull Endoscopic Lateral Lumbar Interbody Fusionと呼ばれています。いずれにしても略称はELLIFを使用しています。

ELLIF (KyoLIF) だけでも国際学会講演8回(うち5回は招待講演、1回はアワード受賞、1回はライブサージャリーも施行)、国内の学会5回の発表をしています。

学会活動はコロナで停滞していましたが、この秋からまた取り組んでいきたいと思っています。学会は自分が発表するだけでなくとても刺激を受ける場所でもあります。毎回毎回勉強になります。そして良い刺激を受けます。

ところで、コロナ禍の中、昨年はSpringer Nature社からEndoscopy of the Spine - Principle

and Practiceという内視鏡脊椎手術の専門書を発刊する、Endoscopic Lateral Lumbar Interbody Fusionというchapterを設ける、先生に是非とも執筆してほしいと依頼があり、英語と格闘しながら（いつも英語と格闘☹）年末の締めめに間に合わせました。手技、ピットフォール、注意点について詳細に書きました。今年の秋頃には出来あがるのではないのでしょうか？ただいま、編集作業に忙しいことだと思います。

さて、内視鏡下に前方固定術を行うだけでもイメージなのでしょうが、進化・改良は止まりません。現在は側臥位でなく、腹臥位で、内視鏡下に前方固定術を施行しています。腹臥位で前方固定術です。ちょっと手術を見ないことには皆さん想像がつかないと思います。腹臥位ですのでPPS（経皮的椎弓根スクリュー）のみならず、他の椎間でPLIFやTLIFがあっても体位変換不要です。全内視鏡ならでは手術です。

近年、OLIF、XLIFを側臥位でする際にナビゲーションシステムを用いたら、PPSも側臥位のまま出来ると大病院の発表がありますが、ELLIFではPPSどころか普通の腹臥位の手術操作もそのままできるのです。

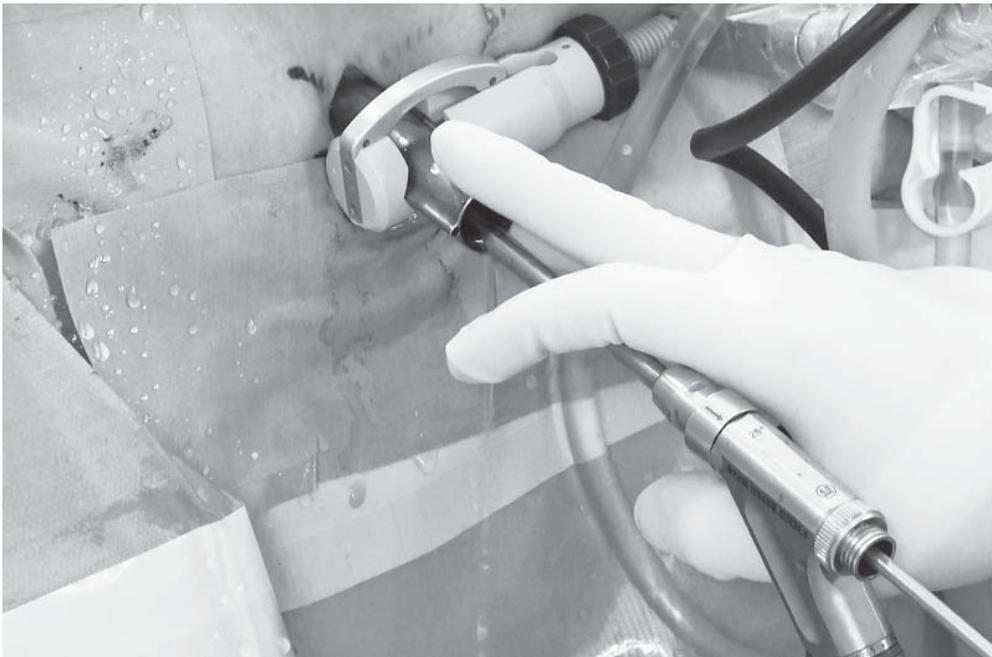
当院での前方固定術ですが、ELLIFは200椎間を超えました。OLIFを含めると400例700椎間を

超えています。今、私は、OLIF1椎間15～20分程度です。2椎間OLIFが25分で終了したこともあります。ELLIFの最短は、3椎間ELLIFが70分です。

経験数もさることながら、当院にしかない手術器械がたくさんあり、通常では考えられないことを達成しています。なお、器械はもちろん薬機法を通してありますから、保険診療で行えます。保険点数の解釈が兵庫県は厳しい（日本一厳しいと言われています）というやるせない点もありますが、とにかく一步一步着実に安全かつ最小侵襲な手術を目指して行きたいと思います。そして、世界中に手技を広めて一般化していく段階に来ていると思っています。

今後ご紹介候補のテーマとしましてはELLIFにとどまらず、後腹膜腔アプローチの全内視鏡下脊椎手術の新境地について（まだ学会発表や論文にしていなので今回は書きませんが、さらにいろいろと進化しております）、胸腰椎椎体骨折後の手術治療について、変性側弯症の手術治療についてなど、幾つもお紹介したい内容がありますので、また、機会があれば書かせて頂きます。今回は短いですが、これで稿を終えさせていただきます。

拝



本日は仏教の話です

増田 博（昭和57年入局）

今回は仏教の話です。僕が仏教の話をするといっても詳しい話をするわけではありません。23年前に母親が亡くなり、実家には父親が一人で暮らしていましたが、3年前に父親が亡くなり、実家においてある仏壇をどうするかを考えるようになりました。結局は我が家に持ってくることになったのですが、仏壇のこと、我が家の浄土真宗のことなどをいろいろと調べたりしました。まず、仏壇を我が家に入れようとして、仏壇屋さんに相談に行きました。古い仏壇をきれいに磨いてもらって、運ぶことも考えましたが、磨いてもらうのにも結構お金がかかることを知り、最終的に新しい仏壇を買いました。

実家にあった仏壇の魂抜きと、新しい仏壇の魂入れを行いました。我が家に仏壇が届き、魂入れをしてからは、ほぼ毎日、朝晩に仏壇の前に座って拝んでいます。仏壇は本尊阿弥陀如来を中心に浄土の姿を表現したきらびやかな荘厳がしつらえています。原則として位牌は置きません。あくまで礼拝の対象は本尊となります。

我が家の浄土真宗は、親鸞聖人により広められたといわれています。親鸞聖人は変わったお坊さんだったらしいです。僧侶には固く禁じられていた肉食妻帯を断行されました。結婚もしたし、肉も食べたそうです。20年間比叡山で修学し、堂僧なども務めていましたが、仏道への迷いを感じて比叡山を降りてしまいました。その後いろいろと考えた後、自らの修行によって煩惱を減らし、悟りを得ることが今までの仏教の目的だったのですが、ただひたすらに南無阿弥陀仏の念仏をとさえれば救われると教えました。念仏も信心も仏によって与えられると、考えました。

親鸞聖人はいろいろと修行を続けて悟りを開こうとしたけれど、うまくいかなかったので、最終

的に「念仏は私が称えるものではない」と説いています。念仏を声に出して称えるのは人間であるが、それを称えさせている主体は阿弥陀仏だといひ、念仏の主体をくつがえしてしまいました。また信心観もくつがえしました。

普通信じるという行為は「私は仏を信じる」というように人が主体になるのが一般的ですが、親鸞は違いました。自分が「信じる」行為そのものが、いかに不純であるかが見えてしまったのです。そして苦しみの中から信じる心、信心はじつは仏によって引き起こされ、開き起こされるものだということに気づいたのです。自分で作り出したり、磨くものではなく、信心を起こさせない彼のために、すでに仏ご自身が信心を得させようとして願ってくださっているのだと考えました。

ということで 阿弥陀様に南無阿弥陀仏を唱えさせてもらっている。阿弥陀様に信じる心を引き起こされていると考えて、毎日仏壇の前に座って唱えています。今のところは何も変わったところは起きていません。

近代以前の世界には ヨーロッパでもアジアでも宗教というものが厳然と存在し、かつての宗教は人々が生きている世界そのもの、生活そのもの、もっと言えば、人々の人生と一体化したものでした。何も悩むこともなく、その中で暮らしていたら問題はなにも起きませんでした。ところが今は、何もかもが自由になり、宗教も自由、何を信じてもよいことになっています。そうなること逆になにを信じてよいのか、わからなくなります。信じるのは自分だけとなり、責任は自分で取らなければなりません。僕が、浄土真宗、親鸞聖人のことを勉強しようとしているのも、何か心のよりどころを探しているのかもしれない。

たにまち 10

阪本 博史（昭和59年入局）

コロナ禍も落ち着き、大相撲も80%の観客動員OKになりました。

国技館なら、二階席を除いた満席の収容人数となります。TV中継では、ほぼ満員御礼の状態です。活気が戻っています。まだまだ、PCR陽性の力士が出たら、力士は出場停止、部屋も濃厚接触者の団体ということで、全員隔離、出場停止の状況は変わっていません。ただ、この状況での休場は、番付はそのまま変更無しの措置がとられています。この数場所、この制度のせいで、勝ち越して上がるはずの番付が枚数どおり上がらなかったり、下がるはずの枚数が下がらなかったりと、おかしな番付編成が生じています。

現在大相撲は幕内42人、十両28人、幕下120人、三段目180人、序二段224人、序の口44人と総勢638人と人数が決められています。今まで最高の力士人数は、平成6年の943人をピークに。少子化、相撲競技人口の減少から、今年638人まで減少しています。給料の出るの、十両以上70人です。全力士の10%だけです。

力士になるルートは、昭和の頃は、田舎の体格の良い中学生をスカウトしてきて新弟子として育てるのが一般的でした。昭和後期から、輪島、朝潮などの大卒、高見山、小錦などの外人力士が登場します。さらに平成になってからは、モンゴル、ヨーロッパ出身の力士が増えてきます。

あまりにもモンゴル出身の力士が増えた為、今では、「日本国籍以外の力士は、各部屋一人まで」と決められています。従って昔のように高砂部屋『朝青龍、朝赤龍』というようなことは起こりません。モンゴルの強い力士を安易に集めないようにしたものです。

最近では、地方、都会に関らず、「ちびっ子相撲教室」なるものが多数できていて、小学生、中学生が通っています。そこへ強豪高校がスカウトに来て、入学させます。埼玉栄、鳥取城北、高知明德などがそうです。それら強豪高校へ、大学、大

相撲の部屋がまたスカウトに来て入学、入門させます。

各部屋に入門できれば、序の口から相撲人生が始まります。また、大学相撲で優秀な成績を残せば、『幕下付け出し』といって、序の口、序二段、三段目の448人をすっとばして、幕下121枚目から出場します。TV中継に映るような十両にまで出世して、まだ、大銀杏が結えないようなスピード出世力士は、間違いなく「学生横綱アマ優勝、準優勝、団体優勝メンバー」です。

遠藤が初対戦で白鵬から金星を取ったとき、『大銀杏も結えない新人に横綱が負けた』と散々言われました。以来、たぶんそれを根に持って白鵬は遠藤に『張り手』を出しまくったのでしょう。ちなみに、遠藤はあの日大相撲部出身の学生横綱です。

大学相撲も昔とは様子が変わってきています。昭和の頃は、日大、農大、拓大がビックスリーでしたが、最近は日体大、近大、東洋大出身の力士が増えています。今年の新弟子10人のうち、日体大出身が4人もいました。

とりわけ、今年の新入ビッグニュースは東大出身の「須山穂嵩24歳」。浦和高校、慶応大学中退、東京大学哲学専攻という経歴の木瀬部屋入門の力士でしょう。去年までは、入門の年齢制限が24歳でしたが、今年から1歳上がって25歳になりました。なぜか？名目は入門者数を増やす為ですが、ほんとうは、話題性のある、『彼』を入れるためといわれています。180cm104kgと、あと40kgくらい体重が増えれば、なんとかなりそうです。

【ノスタルジックヒーロー】

まずは、『大鵬』でしょう。「巨人、大鵬、卵焼」昭和の絶対的ヒーローです。

納谷幸喜（イワン ボリシコ）、北海道川上郡出身（正確には樺太出身）、1940年5月29日生、2013年1月19日没。父、マルキャン ボリシコ

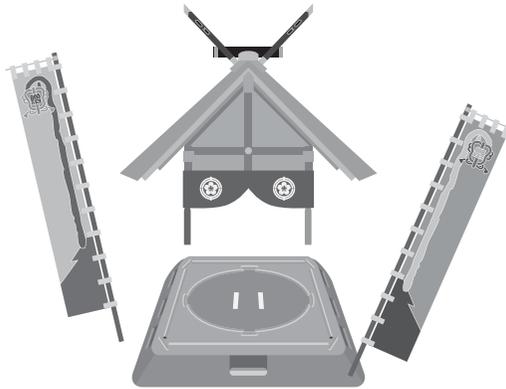
(ウクライナ)、母 納谷キヨ。

第48代横綱。優勝32回。187cm148kg。得意技、左四つ寄りきり。手堅い決まり手で「おもしろくないがとにかく強い」といわれ、ライバル「柏戸」と『柏鵬時代』といわれた。色白で姿の良い美しい横綱でした。関取となった十両昇進から横綱での引退まで、15日間皆勤した場所での負け越しは生涯一度だけという圧倒的強さでした。横綱昇進21歳3ヶ月は、それまでの最年少記録でした。連勝記録は45連勝で止まったが、46番目の戸田との対戦は「世紀の誤審」といわれ、大相撲のビデオ判定のきっかけとなりました。大横綱でも引退の時期はやってくるもので、大鵬も最後の一番は若貴の父、貴ノ花に敗れ引退となりました。

ちなみに、あの横綱千代の富士もその息子貴ノ

花に破れ、引退を決心しました。相撲界初の1代年寄「大鵬」は大鵬部屋を興し、後進を育てました。娘婿「貴闘力（大嶽親方）」に部屋を譲ったが、大嶽親方は賭博事件で相撲界を追放され、親方交代となります。今、幕内力士「王鵬」は貴闘力の息子で、大鵬の孫にあたります。少しだけ祖父大鵬の面影があるようです。

圧倒的に強い力士のいない昨今。横綱は膝に爆弾をかかえ、大関陣は弱く、平幕優勝もじゅうぶんありえる大相撲ですが、それなりにおもしろい場所になっているとおもいます。大阪出身の「勢」が引退し、「大翔丸」は幕下に落ち、残念な夏場所ですが、両膝ACLの無い状態でがんばっている「宇良」だけでも応援しましょう。



WEB研修会を経験して

木下 裕介（平成7年入局）

令和2年9月19日の研修会よりOCAではWEB研修会を開催してきました。小職 会計部門を担当しておりました。令和4年度のOCA総会にて4年間努めていた会計の任から離れました。表記についてはいつか市整会の会報に載せようと思っていたので、会計から離れたこのタイミングで投稿することに致しました。会計から離れと言っても、すぐにこの仕事から手を引くことは不可能です。現在新しい会計担当への引継ぎ期間中です。

WEB研修会、まあ～大変でした。

受講料等の設定について

元々の研修会でもOCA会員：会場費0円、日整会2単位で1,000円、非会員：会場費1,000円、日整会1単位1,000円で会員が優遇されていました。この路線を貫くため、非会員：参加費1,000円、日整会：1単位でも2単位でも2,000円と決定致しました。非会員の先生の参加費の未払いをなくすために、事前入金となりました。

使用口座について

OCAでは月1回の定例研修会、それ以外に特別研修会がありました。4週間以内に複数の研修会が開催される事もあり、一つの口座運営では、どの研修会のための入金か解らなくなるため、研修会毎に口座を変えていました。令和2年6月理事会でWeb研修会開催が決まり、そのために新たに3口座開設しました。指定口座を間違えて振り込まれる事も想定し、振込名を研修会日+氏名（カタカナ表記）+誕生日でお願いしました。最後の誕生日は同姓同名の先生がいた場合の判断基準と致しました。

これ以上の準備は無い、と思えるほど準備をしたのですが、いざ始まってみると、まあ～大変でした。

当然、毎日の入金チェックは必要です。入金チェックだけなら楽勝です。以下に大変だった事を

書き出します。

1：入金金額の間違い

会員区分の間違いが多く、日整会会員をOCA会員と間違えている先生が多く、府外の先生から、日整会2単位希望で1,000円の入金が多く見受けられました。

これらの先生にはメール、FAX、電話を使い連絡です。連絡の付かない先生には共催メーカーに依頼し、現地のMRさんにコンタクト取って頂いてました。

2：指定口座の間違い

研修会用の口座を3口座開設しましたが、実際に3口座同時に稼働していたことが2回ありました。2口座稼働していたのは常によくありました。振り込む先生にとっては面倒なので、2つの研修会のお金をまとめて一つの口座に振り込まれる事も多数ありました。これも連絡し確認が必要です。

全く稼働していない口座に振り込まれる事もあります。ですので常に3口座のチェックが必要です。研修会が一段落すると、振り込まれたお金をすべて引き出し、0円にして管理していました。

3：振込名の間違い

研修会日+氏名（カタカナ表記）+誕生日での振込をお願いしていました。OCAの会員だけで河合先生4名、喜多先生4名、阪本先生1名+坂本先生4名と同名の先生が多数あります。ですので診療所名で振り込まれるとどの先生が解らないためこれも確認が必要です。法人名での振込も多数あります。こちらの方はもっと大変で、連絡するにも個人名が解らないので、個人を特定するのに深夜までかかったことが何度もあります。

4：入金ありでWeb上の申し込みなし

会員の先生の場合は、振込名で個人が特定できるのでまだましです。メールで研修会の受講者名簿に登録されていないことを連絡し、登録を頼ん

でいました。

OCOA非会員の先生は大変です。これは1回だけですが、日整会のHPから「専門医を探す」に入り、振込名からそれらしき先生を探し、共済メーカーに依頼しコンタクトを取ってもらった事があります。鹿児島島の先生でした。

5：質問への対応

Web研修会事務局のメンバーは6名で構成しています。メールでの質問には誰かが対応する必要があります。診察中、午前診と午後診の間、外来終了後～就寝まで。従って土・日・祝関係なく空いている時間は、ほぼPCの前となります。ウソのような本当の話です。

細かい事は多々ありますが、主立ったことはこれくらいでしょうか？

今後ですが、第350回研修会（5月14日）からハイブリッド形式を導入しています。Web申し込み+入金済み+現地参加、Web申し込み+現地支払、当日参加のみの先生が出てきます。これらの先生のグループ分けが今後の課題かと思っています。私の主な仕事は会計ですので、あまり係わらなかったのですが、研修会が終わってからの単位申請、会計以上に大変そうでした。

Web研修会に関し、色々ご迷惑をおかけする事があると思いますが、今後ともご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。



夏の旅行

鱧永 浩（平成7年入局）

今年の夏は、久しぶりに北海道へ一人旅の予定
です。

メンタルを崩してしまい、今、心のリハビリを
しながら、勤務をしております。

おかげでクルマの運転をほとんどしておりませ
んが、3泊ですが千歳周辺だけを訪れる予定で、
どのあたりに行こうか、心が洗われるような、ス
ッキリできる、癒される場所を現在探しておりま
す。

良い景色に出くわせば、それを写真に収めて、
電子カルテのバックグラウンドに入れようかと思
っています。以前は趣味にしていたのですが、コロ
ナの蔓延もあり、しばらく遠のいていました。

北海道には、かつて、えにわ病院に研修で1年
半居りましたので、恵庭市に住んでいて、その後
も毎年のように、訪れてはおりましたが、千歳の
周辺、苫小牧市の名所、少し足を東へ伸ばせば、
静内とか襟裳岬もあるのですが、ほとんど訪れた
ことがありません。

今回は自分の体調を考慮して、千歳の近場を探
索してみようと思っています。

千歳は以前一度だけ、新千歳空港からほど遠く
ないところで農場が集まっている地域、パレット
の丘へは、行ったのですが、ここは美瑛か、富良
野かと錯覚におちいるような景色にも出会うこと
ができましたので、ガイドブックに載ってない名
所でなくても、期待しています。

今回は、普通の旅行のコースとは、はずれる地
域をのんびりと歩いて、良い風景を撮影したいと
思っております。

今回の一人旅を思い立った契機は、お盆の最中
ですが、家内が実家に帰る予定で、そこで同窓会
などもあるらしく、その間年頃の娘と2人で自宅
で過ごすのは少し辛いかなあ、ということで、娘
も実家に一緒に連れて行ってもらって、一人旅を
計画しました。

コロナが未だに収束してはいないので、距離を
保つため、高いのですが、スーパーシートにしま
した。念のため、機内で食事はとらないつもりで
す。アルコールは新品（多分開封後のものは空港
で検査されそうなため）を持参して、マスクも多
めに持参して対策しようと思っています。今更感
はありますが、まだコロナ解禁でないので仕方があ
りません。

カメラは、コロナ禍の前には、ニコンのフルサ
イズのミラーレスを揃えてこだわっていたのです
が、持ち歩くには重いので、APS-Cの軽い小さい
ものに買い替えました。ただ、試し撮りさえして
ないので、これから色々写してカメラの癖とか写
りを確認するつもりです。

通常の外来、クリニック運営はできています
ので、さほどのものではないのですが、メンタ
ルをやられますと、色々気分の変調とか、好き
だったクルマの運転が極端に下手になり、これ
まで思わぬところで、3回もぶつけています。人
様を傷つけることなく自損事故なので、ツイ
てる、ツイてると思ってあんまり気にはして
いませんが、運転は出来るだけ控えています。

また脚がなぜかだるくて走れなくなり、転倒し
やすくなりました。何度か転びましたが、いずれ
も骨折にはいたらず、これまたツイてる、ツイ
てるで気にせずいます。

今回レンタカーは大きめのクルマを借りました
が、事故だけは特に注意して運転しようと思っ
ています。また旅先で転倒しないように、トレ
ッキングポールを持参しようと思っています。

この夏、楽しい一人旅が無事にできる事を期
待して、そして冬には、その成果を皆様にお伝
えできる事を願って、終わりにしたいと思いま
す。

私の最近の祈りです。毎日、生かしていただき
ありがとうございます。全てに感謝して。

勝ち組と負け組

宮脇 裕二（昭和55年入局）

いつも写真入りの軽い話題ばかり書いていますので、今回は少し違う話題でいきたいと思います。

最近の若者世代でよく聞く言葉、『勝ち組』と『負け組』、これは若いドクター方の間でもよく交わされる言葉です。私はあまりこの言葉は好きではありませんし、私が若かった頃この様な言葉は無かった様に思います。近い言葉としては、主流派と反主流派、少し違うかな？

さて世間で昨今使われている『勝ち組』の定義は何でしょうか？勝負に勝った側の人々。社会的・経済的に成功した人、いわゆる格差社会において優位な立場に立つ人。裕福である、地位が高い、容姿端麗である、望んだ人生を実現している、などの状況を指すことのようにです。

一方、『負け組』の方は、勝負に負けた側の人々。社会的・経済的に失敗した人、成功を勝ち得なかった人を指すことも多く。格差社会において不利・不遇の立場、窮状にある人などを指す表現でもあります。

『勝ち組』の実例としては、大阪の北堀江や新町で高級タワーマンションに住んで、ランボルギーニのSUVウルスやフェラーリのルッソに子どもを乗せている様な連中をよく見かけます。こういう人たちは実際どんな仕事をしているのかなと思うことがあります。大阪新町や芦屋の高級スーパーに行くと、とにかく来ている女性たちの美しいこと。モデルかと思う様な方もおられます。その割に一緒にいる旦那はそれほど大したことがないかな？後で聞いた話では、『勝ち組』の男性は容姿端麗な女性をアクセサリ的な意味で妻に迎えるそうです。

『負け組』の人々はそのような『勝ち組』の人たちの生活を妬んだり、批判したりして、常に彼らに対して劣等感を持つような傾向があるとのことですが、そうでしょうか？自分が『負け組』であると対外的にアピールしているだけで、心の中

では決してそうは思っていないはずです。

高校の同窓会に行くと、大企業のCEO、大学教授、有名作曲家など成功した『勝ち組』の周りに最初は多くの人の輪ができますが、そのうちにその輪も解けて、『勝ち組』も『負け組』も無かった昔の高校生時代に戻って、名前も呼び捨てで話し合う様になります。

大会社の役員を定年で辞めて、関連会社にも天引きせず、あえて小学校の用務員を勤めている豪傑が、今の仕事でどれだけ楽しいか、皆に切々と説いているのを聞いたりすると、同窓会に来てよかったなと思ったりします。

つまるところ、『勝ち組』と『負け組』で、最初はこの二つの群に隔たりがあったとしても、長い目で見れば、人生の最後の方も、同様に両者の差はなくなると考えられます。単にその過程が異なっただけです。

我々の業界でも、『勝ち組』と『負け組』という言葉若い先生方の中で、よく耳にします。大学医局のなかでも、研究、臨床で着実に成果を残し、出世してゆく『勝ち組』と早くに大学から離れてしまった関連病院をめぐる『負け組？』とか、飲み会でそういう話を聞いたりします。

また、開業に際してコンサル業者の講演会でよく使われるフレーズ、『勝ち組クリニックになるためには』、『開業後負け組クリニックにならないためには』とか。つまりここで使われる『勝ち組』と『負け組』はある集団を単に色分けする目的で使われる用語ということになりましょうか。

努力してできるだけいい色の方に位置したいと思うのが当然ですが、ご承知の様に、努力以外に出てくるのが『運』とか『星』といった要素でしょうか。

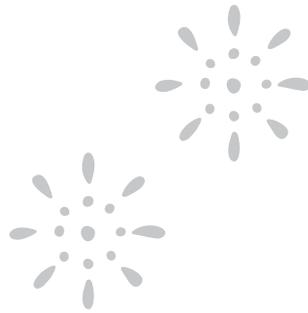
これらも加わり、ある時間軸上のある時点で、勝負がついて『勝ち組』と『負け組』ができるということですが、時間の経過した次の時点で形勢逆転も起こります。

医学部に合格した時はみな『勝ち組』だったのです。国試、専門医試験に合格した時もそうです。しかしそこから『勝ち組』と『負け組』を歩き来しながら、年齢を重ね、医師をリタイアする時、あるいは人生を終える時、最終的に自分が医

者として、社会人としてどちらであったか、自問すれば必ず結論が出てくるものです。

しかし、あまりあれこれ考えるすぎると、『NO TIME TO DIE』でしょうか。





編集後記

ロシアによるウクライナ侵攻、円安の進行、コロナによる市整会会員間の親交の欠如と三つの『シンコウ』のために皆様は悶々とされていることと思います。秋に行われる市整会50周年記念行事、その頃にはこれら三つの問題が全部解決できていたらいいのにと願うのですが、最後の『シンコウ』以外は解決はなかなか難しそうです。

この夏の会報は、竹中新副会長が巻頭言で初登場されます。それを後押しするレギュラー？執筆陣と、忙しい中を無理にお願いして、岩城先生と姜先生に医療関係の記事を書いていただきました

ので、内容的にはかなり充実したものを作ることができました。

同門会の会員名簿は何年入会となっていますが、市整会会報ではこれまで通り何年入局という記載で統一したいと思います。同門会入会と市整会入会がややこしくなる事や、昔からの習わしという事で入局を使っています。

それではみなさま50周年記念式典でお会いしましょう。会場はリッツですので、くれぐれもまちがってANAに行かないようにお願いします。

広報 宮脇裕二